別記様式第２６号（規格Ａ４）（第４条関係）（その１）

年　　月　　日

　　　群馬県知事あて

医療機関　所在地

電話（　　）　　－　　　番

名　　　称

管理者氏名

　　医療法第15条第３項及び医療法施行規則第28条第１項の規定により、下記のとおり診療用放射性同位元素の設置を届け出ます。

記

　１　設置予定年月日

|  |
| --- |
| 年　　月　　日 |

　２　使用開始予定年月日

|  |
| --- |
| 年　　月　　日 |

　３　その他届出事項

　　　後掲の表記載のとおり

　（その２）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | №① | №② | №③ |
| 　放射性同位元素　 | 放射性同位元素の種類 |  |  |  |
| 形状 |  |  |  |
| 年間使用予定数量 | Ｂｑ | Ｂｑ | Ｂｑ |
| 最大貯蔵予定数量 | Ｂｑ | Ｂｑ | Ｂｑ |
| １日最大使用予定数量 | Ｂｑ | Ｂｑ | Ｂｑ |
| ３月間最大使用予定数量 | Ｂｑ | Ｂｑ | Ｂｑ |

　※　放射性同位元素の種類が多数にわたる場合には、その種類ごとに上記事項を記載し、別紙により提出すること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 使　　用　　室 | 使用室の名称 |  |  |  |
| 使用室の構造（※耐火構造、不燃材料又はその他の別を記載すること。） |  |  |  |
| 画壁外側における線量当量（※最大値を記載すること。単位：mSv/週） |  |  |  |
| 通常使用出入口の数（１か所） | 適・否 | 適・否 | 適・否 |
| 壁床等仕上 | 汚染するおそれのある部分の突起物、くぼみ | 適・否 | 適・否 | 適・否 |
| 仕上材の目地等のすきま | 適・否 | 適・否 | 適・否 |
| 平滑で浸透しにくく腐食しにくい材料 | 適・否 | 適・否 | 適・否 |
| 汚染検査用放射線測定器 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 汚染除去器材及び洗浄設備 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 洗浄設備の排水設備への連結 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 更衣設備 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 使用室の標識 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 準　　　　　　　　　備　　　　　　　　　室 | 準備室の名称 |  |
| 準備室の構造（※耐火構造、不燃材料又はその他の別を記載すること。） |  |
| 画壁外側における線量当量（※最大値を記載すること。単位：mSv/週） |  |
| 通常使用出入口の数（１か所） | 適　・　否 |
| 壁床等仕上 | 汚染するおそれのある部分の突起物、くぼみ | 適　・　否 |
| 仕上材の目地等のすきま | 適　・　否 |
| 平滑で浸透しにくく腐食しにくい材料 | 適　・　否 |
| 汚染検査用放射線測定器 | 有　・　無 |
| 汚染除去器材及び洗浄設備 | 有　・　無 |
| 更衣設備 | 有　・　無 |
| 準備室の洗浄設備 | 有　・　無 |
| 洗浄設備の排水設備への連結 | 有　・　無 |
| フード、グローブボックス等の装置の数 | 　　　　台 |
| フード、グローブボックス等の装置の排気設備への連結 | 有　・　無 |
| 準備室の標識 | 有　・　無 |
| 貯蔵施設 | 貯蔵方法 | 適　・　否 |
| 貯蔵室 | 貯蔵室の構造(※耐火構造、不燃材料又はその他の別を記載すること。） |  |
| 貯蔵室の開口部（特定防火設備） | 有　・　無 |

　（その３）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貯蔵施設 | 貯蔵室 | 通常使用出入口の数（１か所） | 適・否 |
| 扉等の外部に通ずる部分の鍵等 | 有・無 |
| 画壁外側における実効線量（※最大値を記載すること。単位：mSv/週） |  |
| 貯蔵施設の標識 | 有・無 |
| 貯蔵箱等 | 貯蔵箱等の構造(※耐火構造、不燃材料又はその他の別を記載すること。) |  |
| ふた等の外部に通ずる部分の鍵等 | 有・無 |
| 画壁外側における実効線量（※最大値を記載すること。単位：mSv/週） |  |
| 貯蔵施設の標識 | 有・無 |
| 貯蔵容器 | 容器外側における実効線量（※最大値を記載すること。単位：μSv/３月） |  |  |  |
| 空気を汚染するおそれのある同位元素を入れる容器の気密構造 | 適・否 | 適・否 | 適・否 |
| 液体状の同位元素の容器の構造 | 適・否 | 適・否 | 適・否 |
| 貯蔵容器の標識 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 貯蔵する放射性同位元素の種類及び数量の表示 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 運搬容器 | 容器外側における実効線量（※最大値を記載すること。単位：μSv/３月） |  |  |  |
| 空気を汚染するおそれのある同位元素を入れる容器の気密構造 | 適・否 | 適・否 | 適・否 |
| 液体状の同位元素の容器の構造 | 適・否 | 適・否 | 適・否 |
| 運搬容器の標識 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 運搬する放射性同位元素の種類及び数量の表示 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 放射線治療病室 | 放射線治療病室の名称 |  |  |  |
| 放射線治療病室の構造（壁床等の仕上げ） | 適・否 | 適・否 | 適・否 |
| 画壁外側における実効線量（※最大値を記載すること。単位：mSv/週） |  |  |  |
| 放射線測定器の設置 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 汚染除去器材、洗浄設備、更衣設備 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 放射線治療病室の標識 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 病床数 | 床 | 床 | 床 |
| 廃棄施設 | 排水設備 | 排水設備外側における実効線量（※最大値を記載すること。単位：mSv/週） |  |
| 排水口における排液中濃度低減能力等 | 適・否 |
| 排液が漏れにくい構造 | 適・否 |
| 排液が浸透しにくく腐食しにくい材料 | 適・否 |
| 排液を採取できる（測定できる）構造 | 適・否 |
| 排液流出調節装置 | 有・無 |
| 処理槽の上部の開口部のふた | 有・無 |
| 立入禁止のための施設 | 有・無 |
| 排水設備の標識 | 有・無 |
| 排気設備 | 排気施設外側における実効線量（※最大値を記載すること。単位：mSv/週） |  |
| 排気口における排気中濃度低減能力等 | 適・否 |
| 人の常時立ち入る場所における空気中濃度低減能力等 | 適・否 |
| 気体が漏れにくい構造 | 適・否 |
| 腐食しにくい材料 | 適・否 |
| 故障等における汚染拡大防止装置 | 有・無 |
| 排気設備の標識 | 有・無 |

（その４）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 廃棄施設 | 保管廃棄設備 | 保管廃棄設備外側における実効線量（※最大値を記載すること。単位：mSv/週） |  |
| 外部との区画 | 有・無 |
| 外部に通ずる部分の閉鎖設備・器具 | 有・無 |
| 気密構造の保管容器 | 有・無 |
| こぼれにくい構造等の保管容器 | 有・無 |
| 保管廃棄容器の表示 | 有・無 |
| 保管廃棄設備の標識 | 有・無 |
| 管理区域 | 区域外側における実効線量（※最大値を記載すること。単位：mSv/３月） |  |  |  |
| 区域外側における空気中の放射性同位元素の濃度（※最大値を記載すること。単位：Bq／cm３） |  |  |  |
| 区域外側における汚染物表面の放射性同位元素の密度（※最大値を記載すること。単位：Bq／㎡） |  |  |  |
| 標識 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 立入禁止等の措置 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| その他 | 注意事項の掲示（従事者・患者） | 有・無 |
| 敷地内居住区域・敷地境界の実効線量（※最大値を記載すること。単位：μSv/３月） |  |
| 放射線診療従事者等の被ばく防止 | 有・無 |
| 患者の被ばく防止 | 有・無 |
| 放射線治療中患者の標識 | 有・無 |
| 使用室でのエックス線装置の併用 | 有・無 |
| 集中治療室等での使用予定 | 有・無 |
| その他防護措置（※措置の内容を記載すること。） |  |
| 元素を使用する医師等 | 職名・職種 | 氏名 | 免許登録年月日 | 免許登録番号 | 放射線診療に関する経歴 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

添付書類

１　診療用放射性同位元素使用室・準備室・貯蔵施設・放射線治療病室・廃棄施設図（使用室、準備室

等及びこれに隣接する室、上下階の室のほか、院内の廃棄経路等を明示した平面図及び側面図）

２　施設の防護に関する検査・測定結果（責任者の所属、職氏名を記したものに限る。）又は遮へい計

算書

３　管理区域を明示した放射線診療関係施設の平面図

注　１)この届出は、個々の診療用放射性同位元素ではなく、病院（診療所）としての診療用放射性同

位元素全体に関する設置の届けであり、個々の診療用放射性同位元素の新設、廃止等は別記様式

第28号による診療用放射性同位元素変更届によること。

２)診療用放射性同位元素使用室・準備室・貯蔵施設・放射線治療病室・廃棄施設図は、原則とし

て縮尺50分の１以上のものとし、線源から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離（ｍ）並び

に防護物の材料及び厚さを記入すること。